

**道南・道東・苫小牧エリアにおける
電源接続案件募集プロセスの開始に伴う
対象エリアの系統アクセス業務の取扱いについて**

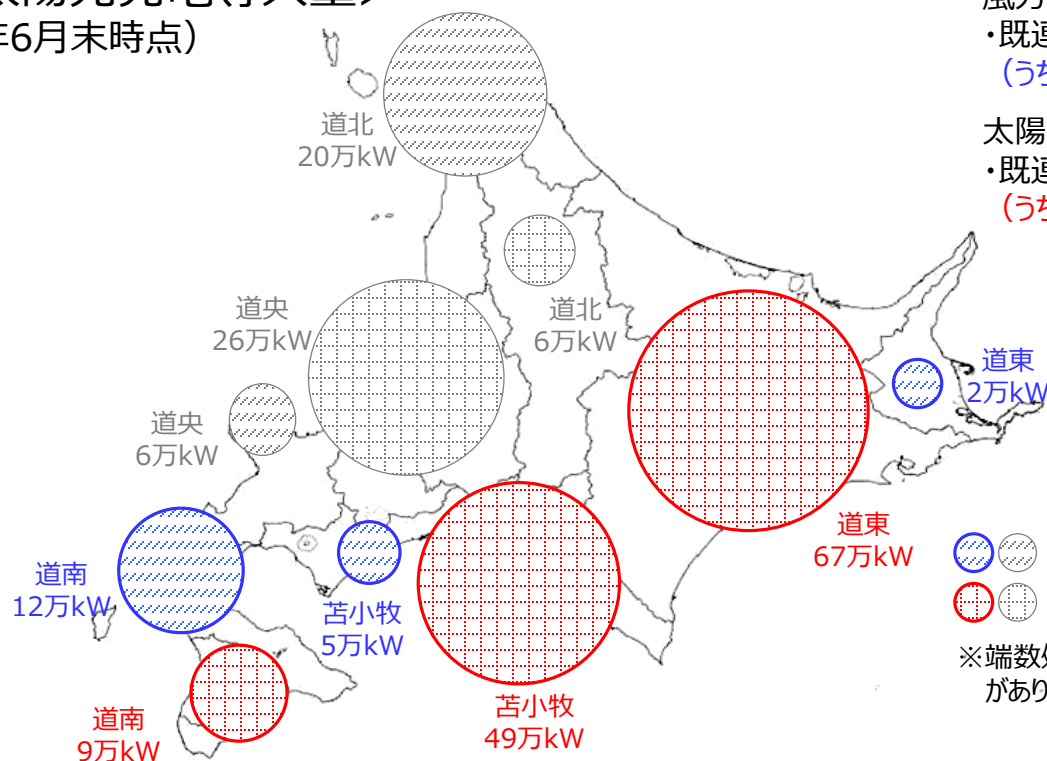
2019年10月4日
北海道電力株式会社

(余 白)

1. 道南・道東・苫小牧エリアにおける再エネ導入状況

- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入以降、道南・道東・苫小牧エリア（以下、対象エリア）では、太陽光や風力といった再生可能エネルギーの導入が急速に拡大しています。
- その結果、当該エリアの送電線の容量が上限に達しており、今後新たに発電設備を連系する場合には、大規模な系統増強工事が必要な状況となっています。

<エリア別風力・太陽光発電導入量> (2019年6月末時点)



風力発電
・既連系容量：44万kW
(うち対象エリア：18万kW)

太陽光発電
・既連系容量：156万kW
(うち対象エリア：125万kW)

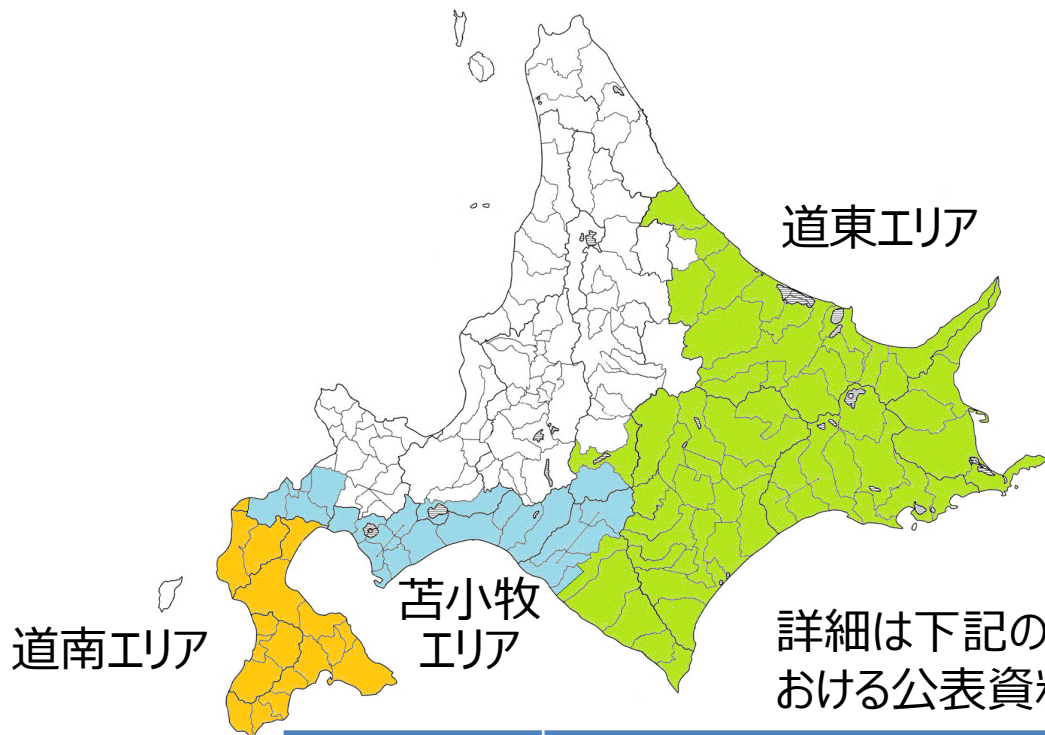
風力発電
太陽光発電

※端数処理の関係で合計が合わない場合があります

2. 電源接続案件募集プロセスの開始

- こうした状況から、系統連系を希望する事業者さまからの申込みを受けた電力広域的運営推進機関（以下、広域機関）は、2019年10月4日、電源接続案件募集プロセス（以下、募集プロセス）の開始を公表しました。

<募集プロセス 対象エリア概略図>



詳細は下記の広域機関の「開始決定における公表資料」をご覧ください。

対象エリア	広域機関ホームページ
道南エリア	https://www.occto.or.jp/access/process/hokkaido/donan.html
道東エリア	https://www.occto.or.jp/access/process/hokkaido/doto.html
苫小牧エリア	https://www.occto.or.jp/access/process/hokkaido/tomakomai.html

(参考) 再生可能エネルギーの導入拡大にあたっての課題

- 再生可能エネルギーの導入拡大にあたっては、電力系統への影響範囲（北海道全体か発電所周辺か）と電源の発電量の変動や大きさの組み合わせによって、主に4つの課題があります。

	対象	北海道全体の電力系統	発電所周辺の送変電設備
発電量の変動	風力・太陽光	①周波数調整面 再エネ電源の出力変動によって発生する周波数変動を基準内に調整できるか	③電圧変動面 再エネ電源の出力変動によって発生する電圧変動を基準内に調整できるか
発電量の大きさ	全ての電源	②需給調整(下げ代)面 需要に対して供給が過剰とならないか	④設備容量面 送電線や変電所の変圧器を流れる電力が、設備の容量を超えないか



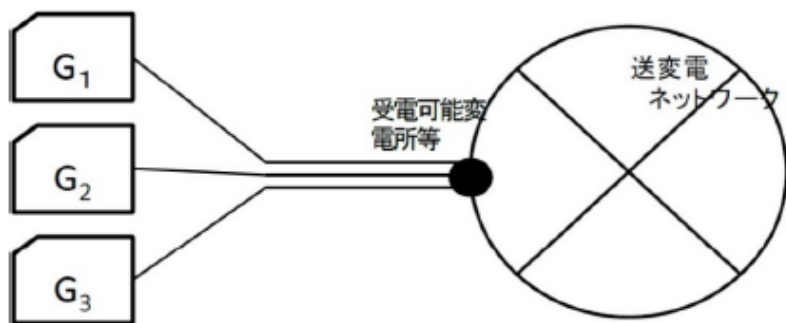
この課題に対応するために募集プロセスが実施される

3 - ①. 電源接続案件募集プロセスとは

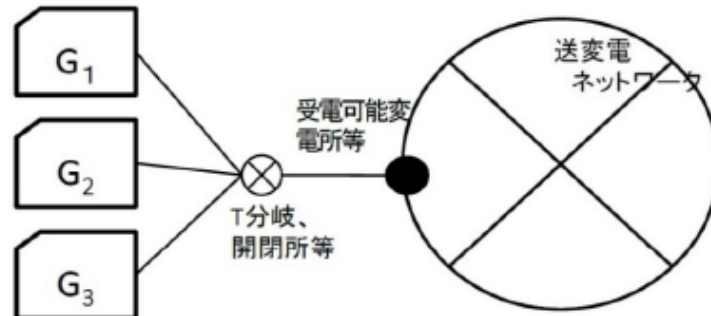
【電源接続案件募集プロセスとは】

- 系統連系希望者が、発電設備等を送電系統に連系等をするにあたり、一般送配電事業者等に接続検討申込みを行った結果、送電系統の容量が不足し、大規模な対策工事が必要な接続検討回答となる場合があります。
- このような場合、仮に近隣に系統連系希望者がいたとしても、個々の計画に守秘性があることから、単独で連系等をするを前提に接続検討を行うため、工事費負担金が高額となります。
- そのため、このようなエリアでは、工事費負担金を支払うことが困難であるとして、系統連系が進まない状況となることがあります。
- そこで、このような状況において、近隣の案件も含めた対策を立案し、それを共用する多数の系統連系希望者で対策工事費を共同負担することにより、効率的な設備形成と個々の系統連系希望者の工事費負担金の低減を図るのが『電源接続案件募集プロセス』です。

〔通常の手続きの例〕



〔電源接続案件募集プロセスの例〕



3 - ②. 電源接続案件募集プロセスとは

- 募集プロセスの主宰者は、広域機関となります。
- 当社は、送電システムの運用者として、送電線の増強規模等の設備に関する検討や入札に係る業務等を行います。
- 当社は、今後、広域機関と協力しながら各種検討等を進めてまいります。

	主な役割	主な実施内容
広域機関	募集プロセスの主宰者として、同プロセスの主要な決定を行う	開始申込みの受付、開始の決定、募集要綱の策定、説明会の実施、優先系統連系希望者の決定、プロセスの成否判定 など
北海道電力	連系先となる送電システムの運用者として募集プロセスの実務を担う	増強規模等の検討、説明会案内・実施、応募受付、接続検討、入札受付、開札、再接続検討、共同負担意思確認、工事費負担金補償契約 など

- 今後、広域機関において募集要綱が決定され、説明会や応募受付等の詳細が公表される予定です。これらの情報につきましては、随時、当社ホームページでもお知らせしてまいります。

4 - ①. 対象エリアにおける系統アクセス業務の取扱い

○対象エリアにおいては、特別高圧および高圧で連系する発電設備等※1の事前相談、接続検討、契約申込み等の系統アクセス業務の取扱いを、下記のとおり一部変更いたします。

＜申込みに対する当社からの回答時期＞

申込書類	申込時期	
	プロセス開始前	プロセス開始後
事前相談依頼票	プロセス完了後に回答※2※3	プロセス完了後に回答※2※3
接続検討申込書	プロセス完了後に回答※2	プロセス完了後に回答※2
契約申込書	通常どおり回答	プロセス完了後に受付※4
意思表明書	通常どおり回答	プロセス完了後に受付※4

※1：逆潮流がない場合や増設等を伴わない場合は、別途お問い合わせください。

※2：プロセスによって募集対象エリア内の系統状況が変動するため、プロセスが完了し、系統状況が確定した後に検討を開始します。

※3：プロセス完了前であっても、「発電設備等設置場所から連系点(想定)までの直線距離」については、申込者の希望により回答可能です。

※4：プロセスの開始によって当該申込者の接続検討回答の前提とした系統状況から変動が生じているため、プロセス完了後の受付となります。なお、同時申込み（系統容量を確保しない契約申込書）についてはプロセス開始後も受付いたしますが、接続検討の回答はプロセス完了後となります。

4 - ②. 対象エリアにおけるシステムアクセス業務の取扱い

- 対象エリアにおけるシステムアクセス業務の取扱いに関するお問い合わせについては、下記メールアドレスまでご連絡ください。

<お問い合わせ先>

対象エリア	メールアドレス
道南エリア	dounan2019@epmail.hepco.co.jp
道東エリア	doutou2019@epmail.hepco.co.jp
苫小牧エリア	toma2019@epmail.hepco.co.jp

(北海道電力(株)のメールアドレスです)

※土・日・祝日のお問い合わせについては、翌営業日以降に対応させていただきますので、予めご了承ください。